

ファシリテーター養成講座の受講形式と概要、ご準備いただく受講環境について

【目次】

- ◆1. ファシリテーター養成講座の全体像
- ◆2. 受講形式によらず共通する部分の概要（事前課題～前半日程～インターバル）
- ◆3. 受講形式ごとに異なる部分の概要（後半日程）
- ◆4. ファシリテーター養成講座の受講環境について

◆1. ファシリテーター養成講座の全体像

ファシリテーター養成講座は、前半 1.5 日間、1 週間ほどの間を設けて実施する後半 2 日間の二部構成、計 3.5 日間の講座です。

また、講座 1 週間前から事前課題に、講座前半と後半の間のインターバルにも各自で課題に取り組んでいただく必要があります。

【2 種類の講座形式】

本講座は日程によって受講形式が異なります。具体的には下図を参照ください。

前半 1.5 日間はいずれの日程もオンラインで実施しますが、後半 2 日間については対面、オンラインのいずれかの形式での受講となります。

① ハイブリッド（前半 オンライン、後半 対面）



※対面は東京都千代田区にあるイマココラボオフィスでの開催となります。

② フルオンライン（前後半ともオンライン）



【2通りの受講形式をご用意している理由】

現在は COVID-19 感染防止のため都道府県間の移動に制限のある方や、集合形式のワークショップへのご参加が難しい方が全国にいらっしゃる状況です。

そういった制限のある方々からオンライン開催のご要望を複数いただいていること、また政府や自治体の要請を踏まえ、移動による感染リスクを伴わない全日程フルオンライン形式での提供を 2020 年 4 月より実施しております。

本講座では、多様な背景の方々が集まり、講座の中でそれぞれの立場や経験、価値観からくる考えをお互いに共有し、対話することを通して理解を深めていきます。その体験はフルオンラインでも実感いただけるとこれまでの開催経験も踏まえ手応えを持っております。

一方、講座をフルオンラインで開催する中で「他の方々とやはり直接お会いしたかった」という声もいただいています。

私たちも、オンラインでの開催に手ごたえや新しい可能性を感じているものの、集合し、顔を合わせ、同じ場を共にするからこそ得られる学びも大きなものと改めて感じています。

これらの状況を踏まえて、11 月以降は後半を東京に集合して学ぶ「ハイブリッド形式」と、全日程オンラインで学ぶ「フルオンライン形式」とを受講日程を選択いただく時点から明示して募集する形としました。

公認資格、公認後のサポートなどは受講形式の違いによる影響はありませんのでご安心ください。

ご自身の状況やご希望に応じて、受講形式を確認の上、お申し込みください。

◆2. 受講形式によらず共通する部分の概要（事前課題～前半日程～インターバル）

事前課題、講座前半の 1.5 日、インターバル期間に行っていただくことは受講形式による差異はありません。詳細は下記ご案内をご確認ください。

【事前課題～前半 1.5 日間～後半に向けてのインターバル】

※前半 1.5 日間の実施予定時間

講座 1 日目：18：30～21：30（オンライン）

講座 2 日目： 9：30～18：30（オンライン）

・ 講座開始 10 日～1 週間前

講座に向けての事前課題として、実技試験範囲のゲーム説明プレゼンテーション練習に取り組んでいただきます。その際に参照いただく数本の動画（計 2 時間弱）をメールで、印刷したテキスト&マニュアルを郵送でお送りします。

これは講座期間中の負荷を低減させるという目的に加えて、講義や試験に向けた練習といった「やり方」に関わることを反転学習として事前に取り組んでいただくことで、講座内では対話や質疑などを中心に、場を共有するからこそそのより深い学びや気づきに集中することを目的としています。

・ 1 日目（オンライン）

夕方からオンラインで集まり、参加者同士がコミュニティーメンバーとしてより効果的に学びを進めていくことを意図して、参加者同士を深く知るワークを実施し、講座での学びの土壌づくりを行います。同時にその体験を通して、ファシリテーターとしての場作り、組織やチームのあり方についても学んでいきます。

・ 2 日目（オンライン）

事前に共有する動画の感想共有からスタートして、2030SDGs の開発コンセプトやイマココラボが 2030SDGs を通じてどんな世界を創り出したいと思っているのか、そして実際のワークショップでどのようにゲームを説明するのか、なぜこういう説明をするのかについて質疑や対話を通して理解を深めます。また実技試験に向けて、部分的なプレゼンテーション（リハーサル）も行っていただきます。この時点でリハーサルを行いフィードバックを受け取ることで、1 週間のインターバルでの練習の質を高めることを意図しています。オンラインでどのようにプレゼンテーションを行っていただくかは、事前課題と同時にご案内します。できる範囲でご案内に沿って、必要な環境をご自身でご用意いただく形になります。

・ インターバル（1 週間）

第一部と第二部の間の 1 週間（インターバル）では、実技試験に向けてゲーム説明プレゼンテーションの仕上げを各自でしていただきます。

このインターバル期間にしっかり仕上げていただくことで確実に実技試験を修了されること、また講座の中で学びにより集中できる環境になることを意図しています。

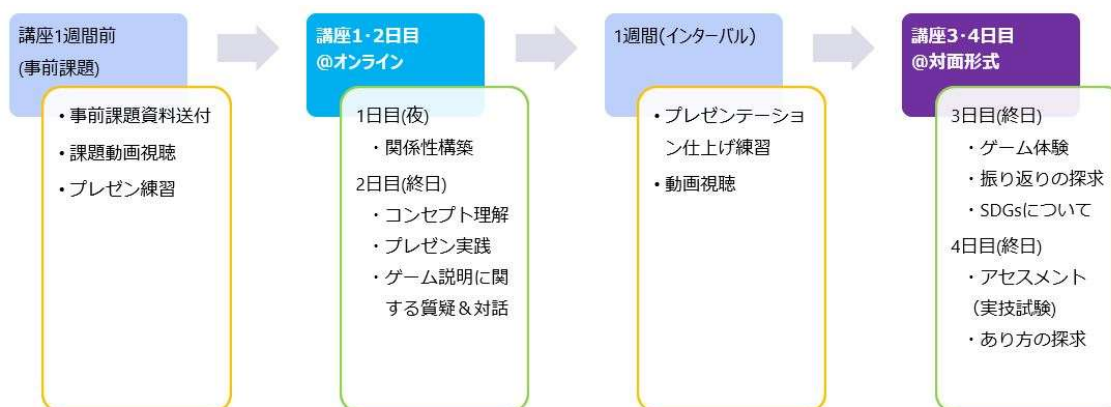
あわせて、後半2日間での学びを深めるための事前動画数本（計1時間強）をお送りします。

◆3. 受講形式ごとに異なる部分の概要（後半日程）

ここからは受講形式による違いをご説明するために、後半日程について受講形式ごとの概要をご説明します。

受講形式による大きな違いは、対面・オンラインであることを除くと、開催時間の違いと講座3日目の学びのアプローチの違いとなります。それぞれの受講形式で最適と思われる形で設計しています。

【ハイブリッド形式】



※講座の内容は予定のため、学びの最適化などを目的に変更になる場合があります。

講座後半ハイブリッド形式では、以下の時間で行います。

講座3日目：10：00～18：30（対面形式）

講座4日目：10：00～17：45（対面形式）

※新型コロナウイルス感染症をはじめ、外部環境の変化などを理由に全日オンライン形式へと変更になる可能性があります。また時間や内容についても多少の変更の可能性があります。

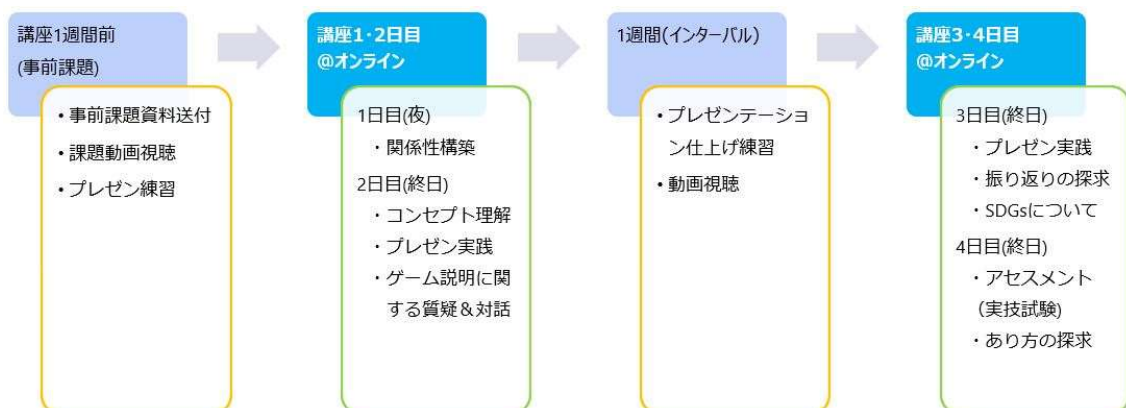
・3日目（対面形式）

午前中に 2030SDGs ゲーム～振り返りまでを改めて体験いただきます。午後は午前の体験をベースにゲーム実施後の振り返りに関して解説したり、皆さんにファシリテーターとして振り返りのファシリテーションロールプレイをしてもらったりと、ゲーム後の振り返りについて学んでいきます。2030SDGs ゲームの体験は非常にパワフルですが、学びや気づきの深さはゲーム体験後の振り返りによって生み出されます。つまり振り返りの質は 2030SDGs ワークショップの質において非常に重要なため、実際のゲーム体験を用いて実践的に探求します。

・講座4日目（対面形式）

午前中は一部屋 3～5 人に分かれて実技試験（アセスメント）として、パワーポイントを用いたゲーム説明のプレゼンテーションを全員行っていただきます。午後は自分のあり方（無自覚に持っている世界観や価値観、意識）に対する自分自身の気づきを高めていくためのワークを実施します。それは、ファシリテーターとしてあり方が大切であると同時に、「ご検討の皆様へ」にてお話した通り私たちひとりひとりが自分自身のあり方に気づくことが社会システムを変革・変容していく、という私たちの考えに基づいています。

【フルオンライン形式】



※講座の内容は予定のため、学びの最適化などを目的に変更になる場合があります。

講座後半、フルオンライン形式では、以下の時間で行います。

移動の必要が無いオンラインの特性と、オンライン特有の疲労などを考慮して休憩時間をしっかり取るために開始・終了時間がハイブリッド形式とは異なります。

講座 3 日目： 9：30～18：30（オンライン）

講座 4 日目： 9：00～18：30（オンライン）

・3 日目（オンライン）

午前中に、実技試験に向けてゲーム説明の一部をプレゼンテーションしていただき、そこに対して相互にフィードバックを行うことでファシリテーターのあり方とやり方を実践を通して深めていきます。また、ファシリテーターの役割についても対話しながら探求します。午後はゲーム実施後の振り返りに関して、午前の対話も踏まえてみなさんにファシリテーターとして振り返りのファシリテーションロールプレイなどを行います。2030SDGs ゲームの体験は非常にパワフルですが、学びや気づきの深さはゲーム体験後の振り返りによって生み出されます。振り返りの質は 2030SDGs ワークショップ全体の質の重要な要素になるため、しっかりと時間を割いて実践的に探求します。

・講座 4 日目（オンライン）

午前中はオンライン会議室を 3～4 人に一部屋用意します。部屋ごとに分かれて実技試験（アセスメント）として、パワーポイントを用いたゲーム説明のプレゼンテーションを全員行っていただきます。午後は自分のあり方（無自覚に持っている世界観や価値観、意識）に対する自分自身の気づきを高めていくためのワークを実施します。それは、ファシリテーターとしてあり方が大切であると同時に、「ご検討の皆様へ」にてお話しした通り私たちひとりひとりが自分自身のあり方に気づくことが社会システムを変革・変容していく、という私たちの考えに基づいています。

◆4. ファシリテーター養成講座の受講環境について

ファシリテーター養成講座では、一部日程または全日程のコンテンツをオンラインで受講いただきます。

講座当日は ZOOM というオンライン会議システムを用いて実施いたします。

*ZOOM の使い方はこちらでご確認ください (<https://zoom-japan.net/manual/pc/>)

オンライン受講にあたりましては下記の環境をご用意いただけるかをご確認ください。ご用意いただけない場合は大変申し訳ありませんが、ご準備でき次第のご参加をご検討ください。

また、申込み時に以下ご入力いただきます。

- ・ご自身の Facebook プロフィールの URL
- ・Dropbox アカウントのメールアドレス

以上をあらかじめご用意いただき、お申込をお願いいたします。

こちらからはネットワークなどに関するテクニカルなサポートを提供することはできかねます。IT などの技術的な部分でご不安がある場合は、受講までに各自でクリアいただく必要があります。

《必須でご用意いただく必要があるもの・ご確認事項》

1. 各日講座に集中できる環境

講座中は対話があるため、BGM が大きいカフェなどは NG です。また、テレワークや学校休校などでご家族が在宅のケースもあるかと思いますが、お一人で集中できる環境をご用意ください。

2. 有線・Wi-Fi などの高速インターネット環境

インターネットの速度が遅い、または不安定な場合、講座中に接続が切れてしまう、音声が途切れてしまう、といった事象が発生する可能性があります。安定したインターネット環境をご用意下さい。

また、1 日 4GB ほどの通信量になる可能性があるため、従量制限がある場合はご注意ください。

低速モードでは接続が難しくなります。またテザリングも不安定なため推奨しません。

3. パソコン（タブレット・スマートフォンでの代用不可）

iPad などのタブレットやスマートフォンからですと機能の制限があり、例えば参加者全員の顔が見えないため、周りの様子が分からず発言が難しくなる、他の方の表情が見えず関係性が育みにくい、といった事象が発生します。チャット機能の活用も難しくなるため、**必ずパソコンをご用意ください。**

※会社のパソコンなどを利用される場合にセキュリティの関係で Zoom のアプリケーションをインストールできないという場合がございます。しかしながら、Zoom ブラウザでの参加は動作が不安定になる、ギャラリービューが使えないなど十分な受講体験が得られないため、必ず、Zoom アプリケーションをインストールしたパソコンでご参加できることをご確認ください。

4. Web カメラ（PC 内蔵で可）

常時カメラ on で受講いただきますので Web カメラが必須です。

PC 内蔵のもので問題ありません。

ZOOM 接続時にカメラが利用できることを確認ください。

5. Dropbox アカウント<お申込フォーム入力項目>

講座に向けて・講座内で使用する資料はオンラインストレージサービス

Dropbox (<https://www.dropbox.com/ja>) を介して共有します。

事前に Dropbox にユーザー登録いただき、登録されたメールアドレスを申し込み時までにご用意ください。

事前課題で Dropbox へのアクセスをしていただく必要がございます。

6. Facebook アカウント<お申込フォーム入力項目>

講座内外で Facebook メッセンジャーを連絡・質問用に使用します。また Zoom のチャットは日をまたいでの保存などができないため、講座内でも学びのアウトプットを Facebook メッセンジャーに書き込んでいただきます。

アカウントをお持ちでない方は申し込み前にアカウント登録をお願いします。

資格取得後にも任意加入とはなりますが Facebook グループ上にファシリテーターコミュニティがあります。そこではファシリテーターの募集や他のファシリテーターの実施報告などが共有されており、非常に有用です。

既存のアカウントを利用したくないという人は、たとえば Toshiyuki を Tosiyuki といったかたちで変えて知人から検索されないようにして、このコミュニティ用に作成されている方もいらっしゃいます。

7. 当日確実にご連絡の取れる携帯等の番号<お申込フォーム入力項目>

オンラインでの受講中、回線などの接続不具合のためにインターネット上でのやり取りができなくなることがございます。その際に、事務局からお電話でご連絡いたします。

そのため、受講中に確実に着信できる携帯等をご用意ください。

《用意いただくことを推奨するもの》

・イヤフォンマイク

より講座に集中できるように、また周囲の雑音を防ぐために可能な範囲でご用意ください。(バッテリータイプだと充電が無くなるケースがあります)

ご不明な点がおありの際は事務局までご連絡ください。

イマココラボ運営事務局 support@imacocollabo.or.jp